

南ア月報
(2021年9月)

【内政】

- ズマ前大統領の仮釈放決定
- ロックダウン警戒レベルを「調整されたレベル3」から「調整されたレベル2」へ引き下げ
- 国家的災害事態の延長
- ロックダウン警戒レベルを「調整されたレベル2」から「調整されたレベル1」へ引き下げ

【外政】

- 南アからの英国入国に関する規制の見直し
- ラマポーザ大統領、第13回 BRICS 首脳会合に出席
- ラマポーザ大統領及びパンドール国際関係・協力大臣の国連総会出席

【経済】

<経済指標>

- 経済成長率
- 消費者物価指数
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- 南ア準備銀行(中銀)が政策金利を3.5%に据置き
- 南ア医療製品規制庁が12歳以上の子どもにファイザーワクチンを承認
- ワクチン接種デジタル証明書の開発

【警備】

- 南ア治安情勢(路上に設置された突起物によるパンク及び修理中の強盗事件の増加)

1 内政

●ズマ前大統領の仮釈放決定

5日、矯正省は収監中のズマ前大統領について、医学的見地に基づき、仮釈放とすることを決定した旨の声明を発表した。

●ロックダウン警戒レベルを「調整されたレベル3」から「調整されたレベル2」へ引き下げ

12日、ラマポーザ大統領は演説を行い、国全体で感染者数が減少していることを受けて、13日からロックダウン警戒レベルを従前の「調整されたレベル3」から「調整されたレベル2」へ引き下げることを発表した。

●国家的災害事態の延長

12日、南ア政府は国家的災害事態 (the national state of disaster) の1ヵ月延長 (2021年10月15日まで) を発表した。

●ロックダウン警戒レベルを「調整されたレベル2」から「調整されたレベル1」へ引き下げ

30日、ラマポーザ大統領は演説を行い、国全体で感染者数が減少していることを受けて、10月1日からロックダウン警戒レベルを従前の「調整されたレベル2」から「調整されたレベル1」へ引き下げることを発表した。

2 外政

●南アからの英国入国に関する規制の見直し

南ア大統領府と南ア国際関係・協力省は、それぞれ30日と19日に、英国政府が9月中旬に行った、同国への入国規制の最も厳格な「レッドリスト」対象国から南アを除外しないとの決定に対して、見直しを求める声明を発表した。他にも、南ア国内の報道機関等からも除外を求める動きが広がった。10月7日、英国政府は南アを同リストから10月11日付けで除外する旨を発表した。

●ラマポーザ大統領、第13回 BRICS 首脳会合に出席

9日、ラマポーザ大統領は議長国インドが主催した BRICS 首脳会議にオンラインで出席し、コロナ禍において BRICS 諸国が連携して、世界における新型コロナウイルスワクチン供給の加速化に向け各々が役割を果たすこと、また世界におけるワクチン増産のために WTO・TRIPS 協定の一時免除を支持すること、更に本年6月に行われた BRICS 外相サミットにおいて採択された「多国間システムの強化及び改革に関する BRICS 外相共同声明」を歓迎する旨述べた。

●ラマポーザ大統領及びパンドール国際関係・協力大臣の国連総会出席

23日、ラマポーザ大統領はビデオ形式にて国連総会一般討論演説を実施。21-27日、パンドール国際関係・協力大臣は、第76回国連総会出席と共に、ダーバン宣言20周年記念ハイレベル会合をはじめ、関係会合に出席した。

3 経済

<経済指標>

●経済成長率

南ア統計局は、2021年第2四半期（4月～6月）のGDP成長率を発表。第1四半期との前期比プラス1.2%となった。支出面では、家計消費支出が+0.5%、固定資本形成が+0.9%、輸出が+4.0%、輸入が+0.4%、政府消費支出が-0.1%となった。セクター別のGDP成長率は、交通セクターが+6.9%、農業セクターが+6.2%、個人業セクターが+2.5%、鉱業セクターが+1.9%、電気・ガス・水道セクターが+0.7%となった。（南ア統計局、9月7日）

●消費者物価指数

2021年8月の年間消費者物価インフレーション率は4.9%と前月（4.6%）に比べ0.3%上昇、消費者物価指数（CPI）は前月から0.4%上昇した。（南ア統計局、9月22日）

●為替レート

2021年9月30日付（南ア準備銀行）

7.3933 ランド/円

15.1360 ランド/米ドル

17.5630 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2021年7月の製造業は、前年同月比4.1%減。主なマイナス要因は、石油、化学製品、紙、ゴム及びプラスチック製品で23.2%減。食料品及び飲料で2.0%減。

また過去3ヶ月（2021年5月～2021年7月）の季節調節後生産高は2021年2月～4月の3ヵ月から5.5%減。製造業10部門中の7つの部門で生産高減となった。（南ア統計局、9月9日）

●鉱業生産高

2021年7月の鉱業生産高は、前年同月比10.3%増。主なプラス要因は、鉄鉱石で42.9%増、白金で10.3%増、クロム鉱石で45.8%増、金で13.4%増。また過去3ヶ月（2021年5月～7月）の季節調節後生産高は2020年2月～4月の3ヵ月から1.9%減となった。（南ア統計局、9月14日）

<出来事>

●南ア準備銀行(中銀)が政策金利を3.5%に据置き

23日、南ア準備銀行は、金融政策決定会合を開き、政策金利を3.5%に据置くことを発表した。また、2021年のインフレ率を4.4%、GDP成長率を5.3%と予想した。

●南ア医療製品規制庁が12歳以上の子どもにファイザーワクチンを承認

12日、南ア医療製品規制庁は、ファイザーの新型コロナウイルスワクチンの12歳以上の子どもたちへの接種を承認した。医療製品規制庁によると、この決定は、今年3月に提出された安全性と有効性に関する更新情報のレビューを受けて決定された。

●ワクチン接種デジタル証明書の開発

10日パーシャ保健大臣が、ワクチン接種デジタル証明書の開発に着手したと発表。EVDSデータベースを元に、スマートフォンでの利用が可能となる予定。また、ラマポーザ大統領は30日、保健省がまもなくワクチン接種証明書を導入すると発表。

4 警備

●南ア治安情勢（路上に設置された突起物によるパンク及び修理中の強盗事件の増加）

ハウテン州を中心に、路上に設置された突起物により車がパンクさせられる、パンク修理中に強盗被害に遭うという事件が4月ころから多発し、一旦減少傾向が見られていたが、最近、再び同様の事件の発生が多く聞かれるようになってきた。午後6時ころから午前4時ころまでの暗い時間帯や週末の発生が多いようである。

夜間帯の車の運転を控えることや、車を運転する際は安全速度と車間距離を維持し、路面や周囲の状況に注意して路上にある物を避ける運転が肝要である。万が一パンクした際は、強盗に狙われている可能性を念頭に、その場ですぐに停車せず安全が確保できる場所まで走行する、警察などに通報するという対応が必要である。